

## 平成 27 年度「英語能力判定テスト」における 南中学校の結果の概要と今後の取組について

大阪市では、生徒の英語力の充実と向上を図るため、教育振興基本計画\*に基づき、英語イノベーション事業\*の一環として、「英語能力判定テスト」を実施いたしました。このテストの目的は、生徒が自らの英語力を的確に把握 3059 ふるとともに、学校における英語の指導の改善を図ることにあります。

学習指導要領における中学校英語の目標は、4 技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）を総合的に活用できるコミュニケーション能力の育成と示されております。本テストで測定できるのは英語力の一部ですが、本校では、結果をふまえ、生徒の総合的な英語力向上を目指してまいります。

- 1 目 的 (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。  
(2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

2 対 象 大阪市立全中学校 生徒 1～3 年生

3 実 施 日  
・3年生 平成 27 年 11 月 10 日（火）  
・2年生 平成 28 年 2 月 5 日（金）  
・1年生 平成 28 年 2 月 4 日（木）

4 内 容

学年	テストの種類	テストの難易度	テスト内容		満点スコア
			筆記問題	リスニング問題	
3年	テストD	英検3～5級レベル	50 題	30 題	460 点
2年	テストE	英検4～5級レベル	40 題	25 題	400 点
1年	テストF	英検5級レベル	25 題	25 題	340 点

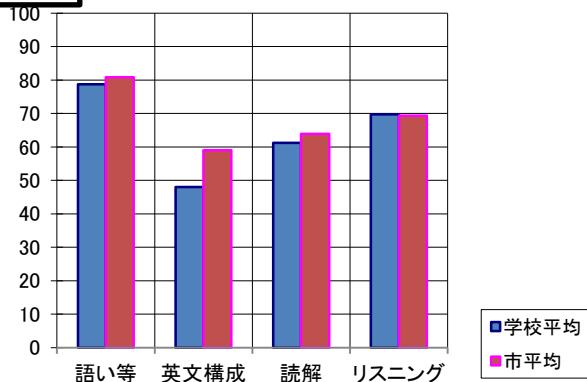
\*教育振興基本計画…本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画

\*英語イノベーション事業…本市の英語教育強化を図るための事業

## 平成27年度「英語能力判定テスト」結果の概要と今後の取組 南中学校

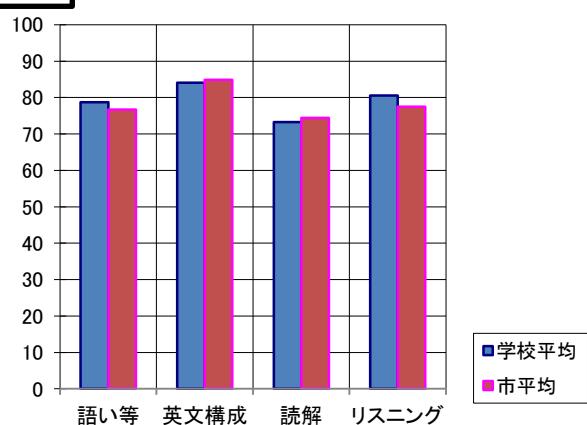
3年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	78.7	48	61.2	69.7
市平均	80.8	59.0	63.9	69.4

3年



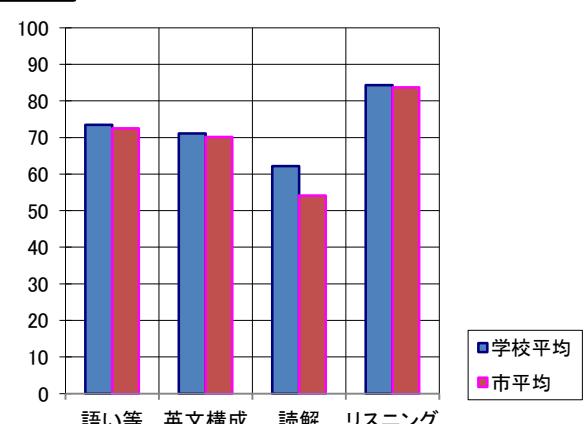
2年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	78.7	84.1	73.3	80.6
市平均	76.7	84.9	74.4	77.5

2年



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	73.5	71.1	62.2	84.3
市平均	72.5	70.1	54.1	83.7

1年



### 結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年

英検3～5級レベル：スコア 0～460点

#### 《結果の概要》

他の技能に比べて『語彙等』の結果が高いにもかかわらず、『英文構成』の成績が特によくないことがグラフから明らかである。

#### 《結果をふまえた今後の取組》

『英文構成』は文法の理解が不可欠であるので、1年次からの基礎の積み上げをきめ細やかにやらねばならない。

2年

英検4～5級レベル：スコア 0～400点

#### 《結果の概要》

リスニングや語彙等で若干ではあるが、平均を超えていている。

#### 《結果をふまえた今後の取組》

突出して悪かったり良かったりがないので、あとは具体的な実践練習を増やすことが重要と考える。

1年

英検5級レベル：スコア 0～340点

#### 《結果の概要》

ごくわずかであるが、全技能で平均を上回っているのはうれしいことである。

#### 《結果をふまえた今後の取組》

『語彙等』に比して、『読解』の結果が低いのは、日本語能力の不足に帰結すると思われる。さらに基礎語彙を増やしつつ、国語科との連携で読書能力を伸ばしていく。